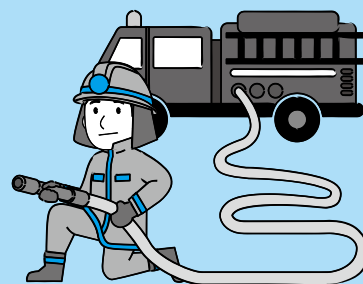


災害対策



荒川区役所

3802-3111(代)



地震対策

近年、日本各地で地震が頻発しており、東京都でも今後30年以内に、70%の確率で首都直下地震が発生すると予想されています。

いつ大規模な地震が発生しても、落ち着いて、安全に行動できるよう、日ごろから準備をしておきましょう。

■日ごろの備え

◎家庭での備蓄と非常持ち出し袋の準備をしましょう

地震が発生し、電気・ガス等のライフラインや物資の供給が止まった場合、食料や生活用品等の確保が困難となります。各家庭の構成人数や年齢等に応じて、1週間以上過ごせる量を目標に食料や生活用品等を準備するとともに、避難所等へ避難する場合に備えて、非常持ち出し袋も準備しておきましょう。なお、食料や生活用品等の備蓄では、普段食べているものや、使っているものを常に少し多めに購入して備蓄品とする、「日常備蓄（ローリングストック）」が効果的です。

○備蓄品の例

- ・飲料水（大人1人1日あたり3ℓ）
- ・食料（大人1人1日あたり3食分）
- ・携帯トイレ（大人1人1日あたり5回分）
- ・生活用品（マスク、懐中電灯、カセットコンロ、ライター、ラジオ、ティッシュ、ビニール袋、蓄電池、歯磨きセット、生理用品等）

○非常持ち出し袋の例

- ・貴重品（現金、通帳等）
- ・水・食料（飲料水、非常食等）
- ・日用品（マスク、タオル等）
- ・衣類（着替え、靴下等）
- ・医療品（常備薬、消毒液等）
- ・その他（ラジオ、懐中電灯、モバイルバッテリー等）

◎屋内の安全対策をしましょう

たんすや本棚等の家具の転倒等による負傷を防ぎ、避難経路を確保するためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策や、ガラスの飛散防止対策が有効です。

また、地震による火災を防ぐためには、感震ブレーカー（強い揺れを感知したときにブレーカーを落とす装置）の設置が有効です。

区では、家具類の転倒・落下・移動防止器具やガラスの飛散防止フィルム、感震ブレーカーの購入等に対する助成や、65歳以上のみの世帯や障がい者のいる世帯等に簡易型感震ブレーカーの無料配付を行っています。

◎避難の流れを確認しましょう

荒川区防災地図（地震版）や荒川区防災アプリ（→P78）等で、自宅や通学路、通勤経路等から一時集合場所、広域避難場所、一次避難所等への避難経路を確認しましょう。

なお、一時集合場所や一次避難所は、町会ごとに指定されています。事前に確認しましょう。

◎家族等との連絡方法を確認しましょう

家族と離れてしまった場合に備え、待ち合わせ場所を事前に決めておき、そこに向かう方法等を確認しましょう。

また、大規模災害発生時にNTTが開設する「災害時伝言ダイヤル（番号171）」や、各携帯電話会社が開設する災害用伝言板の利用方法等も確認しましょう。

◎地域の防災訓練に参加しましょう

区では、地震による火災に備えて、区内各所への消火器の設置や、町会・自治会への消火用ポンプの配備を行っています。自分や家族の命・財産を守るためにも、日ごろから資機材の使い方を身に付けておくことが大切です。

町会・自治会では、毎年、その地域の特徴にあった防災訓練を実施しています。家族、知人、近所の方と一緒に参加しましょう。

■永久水利施設

首都直下地震が発生した際には、区内で18件の火災が発生し、最悪の場合2,090棟が焼失するほか、上水道の46.9%が断水する恐れがあるとされています。

区内は、多くが木造住宅密集地域であるため、震災時には、家屋の倒壊や断水によって消火活動が難しくなることが予想されます。

区では、河川水や地下水等の永久に枯れることのない水を消火用水として利用する「永久水利」という仕組みを考案し、区内8か所に整備しています。

有事の際には、消防機関の消火用水として、防災区民組織や消防団等が連携して不足する恐れがある防火水槽に送水します。

整備地点	住所	消火用水の種類
南千住6丁目スーパー堤防	南千住6-37	河川水
荒川公園	荒川2-2-3	地下水
第五中学校	町屋1-37-16	河川水
第四峡田小学校	町屋2-11-6	地下水
赤土小学校	東尾久2-43-9	
都立尾久の原公園	東尾久7-1	河川水
あらかわ遊園	西尾久6-35-11	
日暮里公園	東日暮里3-11-10	地下水

■地震発生時の対応

◎自宅にいる時に強い揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた場合

- テーブルの下に潜る等により、落下・転倒物から身を守りましょう。
- 揺れが収まったら、慌てずに、火の始末とブレーカーを落とす（感震ブレーカーを設置している場合は、作動していることを確認する）ことにより、出火を防止しましょう。
- 火の始末等を終えたら、自宅の安全確認・避難経路の確保を行うとともに、荒川区ホームページや荒川区防災アプリ、テレビ、ラジオ等から正しい情報を入手しましょう。
- 自宅の安全確認等が済んだら、隣近所で安否確認を行うとともに、地域で協力して、初期消火や救出・救護を行いましょう。

◎自宅以外の場所にいるときに強い揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた場合

- 屋内にいる場合はテーブルの下に潜る等により、落下・転倒物から身を守りましょう。
屋外にいる場合はブロック塀や門等から離れ、物が落下・転倒してこない場所に移動しましょう。
- 揺れが収まったら、荒川区ホームページや荒川区防災アプリ等から正しい情報を入手し、自宅等の安全な場所まで冷静に移動しましょう。

◎家に帰れない、そのときには

地震が発生すると、交通機関が停止する可能性があります。交通機関の停止に伴い、帰宅が困難になった人を「帰宅困難者」といいます。

東日本大震災の際には、東京都でも多くの帰宅困難者が発生しました。

自宅まで安全に帰宅するために、「帰宅困難者の行動心得10か条」を参考に、日ごろから準備しましょう。

○帰宅困難者の行動心得10か条（出典：東京都）

- ・あわてず騒がず、状況確認
- ・携帯ラジオをポケットに
- ・作っておこう帰宅地図
- ・ロッカー開けたらスニーカー（防災グッズ）
- ・机の中にチョコやキャラメル（簡易食料）
- ・事前に家族で話し合い（連絡手段、集合場所）
- ・安否確認、災害用伝言ダイヤル等や遠くの親戚
- ・歩いて帰る訓練を
- ・季節に応じた冷暖準備（携帯カイロやタオル等）
- ・声を掛け合い、助け合おう

問 防災課防災管理係（区役所3階） ☎内線 492

問 防災課防災事業係（区役所3階） ☎内線 418

■マンションの防災対策を支援します

マンションは、一般的に耐震性能や防火性能が優れていると言われていますが、大規模地震が発生した場合は、エレベーターの停止や閉じ込め、排水管の損傷によるトイレの使用制限等、マンション特有の被害が生じる可能性があります。

自宅に食料品などの備蓄や屋内の安全対策等の自助の備えのほか、管理組合による防災マニュアルの作成やエレベーターの耐震化、防災資器材の配備等、日ごろから共助の備えをしておくことが、大規模地震後も住み慣れた環境で生活をするために重要です。

こうした対策を進めるため、防災対策工事、防災資器材や備蓄品を購入する費用の一部助成を行っています。助成を受けるには、要件がありますので、事前にご相談ください。

支援メニュー	助成率	限度額
防災対策工事	2/3	400万円
防災資器材配備		50万円
共同備蓄品配備		10万円

問 住まい街づくり課住宅係（区役所北庁舎2階）

☎ 3802-4303

水害対策

近年、大型台風等による大規模水害が発生する危険性が高まっています。水害は、事前の情報収集や早めの避難で身を守ることができる災害です。

いざという時に落ち着いて行動できるよう、日ごろから水害に対する知識を身に付けましょう。

■自宅の浸水リスクを確認しましょう

荒川区防災地図（水害版）や荒川区防災アプリ等で、荒川が氾濫した場合の自宅で想定される浸水の深さや浸水の恐れがない階層等を確認しましょう。

■避難方法を確認しましょう

荒川区防災地図（水害版）や荒川区防災アプリ等を参考に、水害時の避難方法や避難時の注意点を確認しましょう。

なお、区では水害の状況に応じて避難場所を開設しますが、浸水しない地域に住んでいる方や、自宅に浸水しない階層がある方は、自宅に留まり安全を確保しましょう。また、浸水の恐れがない地域の親戚・知人宅や安全なホテル等に避難する場合は、交通機関に影響が出る前の早い段階で避難しましょう。

◎避難情報の種類

避難情報は、水害・土砂災害の危険性が高まった場合、緊急度に応じて区が発令するものです。

警戒レベル	避難情報の名称	取るべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	至急、命を守るために安全を確保する行動をとる
警戒レベル4までに必ず避難しましょう		
警戒レベル4	避難指示	すべての方が危険な場所から避難する
警戒レベル3	高齢者等避難	高齢者、障がい者、妊産婦や乳幼児等で避難に時間を要する方は危険な場所から避難する

◎避難時の注意点

- ・動きやすい服装・運動靴を着用しましょう。
- ・2人以上で行動しましょう。
- ・近所の方々と声をかけ合って避難しましょう。

■避難場所（水害時）を確認しましょう

地区	施設名称
南千住	第六瑞光小学校
	瑞光小学校
	★ 石浜ふれあい館
	第二瑞光小学校
	★ 南千住ふれあい館
	都立荒川工科高等学校（南千住6-42-1）
	★ 南千住駅前ふれあい館
	第三瑞光小学校
	南千住第二中学校
	★ 汐入ふれあい館
	汐入小学校
	汐入東小学校
荒川	第三中学校
	第一中学校
	第三峡田小学校
	第二峡田小学校
	★ ゆいの森あらかわ
	★ 峡田ふれあい館
	生涯学習・教育センター
	峡田小学校
	第九峡田小学校
	第四中学校
町屋	★ 荒川山吹ふれあい館
	★ 町屋ふれあい館
	第五中学校
	第四峡田小学校
	第五峡田小学校
	大門小学校

■家庭での備蓄と非常用持ち出し袋の準備をしましょう

自宅等に留まる場合に備え、1週間以上過ごせる量を目安に食料や生活用品等を準備するとともに、避難場所等へ避難する場合に備えて、非常用持ち出し袋も準備しましょう。（→P75）

■止水板設置費用の一部を助成します

台風や局地的大雨等の浸水被害から住宅等を守るために止水板を設置する費用の一部を助成しています。

助成を受けるには基準があります。事前にご相談ください。

問 土木管理課管理係（区役所北庁舎2階） ☎ 3802-4296

地区	施設名称
	原中学校
	★ 荒木田ふれあい館
	第七峡田小学校
	第九中学校
	★ 東尾久本町通りふれあい館
東尾久	赤土小学校
	尾久小学校
	★ アクト21
	尾久宮前小学校
	★ 尾久ふれあい館
西尾久	尾久八幡中学校
	第七中学校
	尾久西小学校
	尾久第六小学校
	★ 西尾久ふれあい館
東日暮里	★ 東日暮里ふれあい館
	第三日暮里小学校
	★ 夕やけこやけふれあい館
	第二日暮里小学校
	都立竹台高等学校（東日暮里5-14-1）
西日暮里	日暮里サニーホール
	★ ひぐらしふれあい館
	ひぐらし小学校
	諏訪台中学校
	★ 諏訪台ひろば館
	★ 西日暮里ふれあい館
	第六日暮里小学校

※★は高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児の方の避難を優先する施設

問 防災課防災事業係（区役所3階） ☎ 内線 418

土砂災害対策

近年、思いも寄らない大雨が降る事例が多くなっています。日ごろから最新の気象情報を入手するように心がけ、いざというときに迅速な行動ができるように備えましょう。

■土砂災害警戒区域の指定

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域は、東京都が「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（通称「土砂災害防止法」）に基づき定めています。

区では、西日暮里3・4丁目の一部が指定されています。詳細な場所は、荒川区土砂災害ハザードマップや荒川区防災アプリ等でご確認ください。

■避難の流れ

荒川区土砂災害ハザードマップや荒川区防災アプリ等を参考に避難の流れを確認しましょう。

■非常持ち出し袋を準備しましょう

自主避難場所等へ避難する場合に備えて、非常持ち出し袋を準備しましょう。（→P75）

問 防災課防災事業係（区役所3階）

☎内線 418

災害時における区からの情報発信

■荒川区防災アプリ

区が発令する避難情報や防災行政無線の放送内容、区内の被害状況、避難場所の開設情報や混雑状況をリアルタイムで確認できます。

Google Play、App Storeで「荒川区防災アプリ」と検索、または下の二次元コードを読み取りダウンロード



▲Android



▲iOS

■荒川区ホームページ・各種SNS

区が発令する避難情報や避難場所の開設情報等を確認できます。（→P19）

■テレビのデータ放送

テレビリモコンのdボタンを押すと表示されるデータ放送により、区の避難情報や避難場所の開設情報等を確認できます。

■ケーブルテレビ「マイチャンネルあらかわ」（11ch）

データ放送とともに、テロップ表示により区からの情報を確認できます。

■緊急速報メール、エリアメール

区が発令する避難情報を、携帯電話の画面に自動表示します。

■音声による放送

防災行政無線や安全・安心パトロールカーにより、区が発令する避難情報を音声で放送します。

問 防災課防災管理係（区役所3階）

☎内線 492

教えて！あら坊

荒川区なのに隅田川？

区の名前は「荒川区」なのに、荒川区に沿って流れる川の名前が「隅田川」というのはどうして？

それは、荒川区が誕生した昭和7年当時、現在の隅田川を「荒川」と呼んでいたからです。区の名前は、農業や工業の発展に大きな影響を与えた「荒川」にちなんで付けられました。

度重なる洪水を防ぐため、明治43年の大洪水をきっかけに、明治から大正にかけて川の水量を調整する「岩淵水門」と人工河川の「荒川放水路」が造られました。そして、昭和40年、河川法に基づく建設省政令により、北区の岩淵水門から下流を「隅田川」、同時に、荒川放水路を「荒川」と呼ぶように定められました。



これにより、荒川区の周りを流れる川は「隅田川」になったのです。

